

詩歌、447番

447 經歷神一藉三身位

1 何というおく義，ちち，子，靈，三かく位，本しつひとつ；  
このかみわが靈にはいり， わがすべてのきょうきゅう。

1. 何等奥妙，父、子、靈乃是一神！身位雖三，本質卻是一靈；  
何等榮耀，這位神進入我心，在我裡面，作我一切供應。  
(副)

(復) さんいちのかみはいま， われらのすべてぞ！  
神聖な成分，無尽蔵なり， 何という不思議よ！

三一之神，作了我的一切！何等奇妙！何等榮耀！  
神聖成分，我能取用不竭！何等高超！何等逍遙！

2 ゆたかなみなもと，ちちは， ひとにエンジョイさせるため，  
その豊富われにぶん与す； とわにつかい尽くせじ！

2. 何等豊富，父乃是一切源頭，祂的一切全為供人享受；  
何等有福，這一切竟歸我有，不盡不竭，取用直到永久！

3 くすしき，子はちちの表現， にく体もてともに住む；  
十字架のあがないの効果， つみびとかみと連合す！

3. 何等奇妙，子乃是父的顯出，藉著肉身來與人類同處；  
何等有效，在十架成功救贖，使我罪人竟能與神聯屬！

4 うるわしい，靈は子の変容ぞ， わが靈に入りて供給す；  
靈は靈に触れてちょう和し， ふたつ靈いまやひとつ。

4. 何等美妙，靈乃是子的進入，進入我靈，作我生命供應；  
何等逍遙，我今能與靈接觸，靈靈響應，二靈竟成一靈。

5 實際なり，かみのすべては， 靈にあり日々経験さす；  
驚異なり，いのち性しつは， かみとすこしも差なし。

5. 何等實際，神一切全在靈裡，是靈在靈 給我接觸、經歷；  
何等希奇，我與神聯合為一，生命、性情不再彼此各異。

What mystery, the Father, Son, and Spirit,  
In person three, in substance all are one.

How glorious, this God our being enters  
To be our all, thru Spirit in the Son!

Chorus

The Triune God has now become our all!  
How wonderful! How glorious!

This Gift divine we never can exhaust!  
How excellent! How marvelous!

## 神戸に在る教会 今週の特別な予定

12/30(水) 8:30 ~ ビデオ訓練

12/31(木) 4:00PM ~ 餅つき@魚崎

6:00PM ~ 恵みを数える集会@魚崎

1/1(金) 10:00 ~ 12:00 新年集会@本山

12:00 ~ 餅つき@本山

**I. 神は唯一無二です。私たちはこの啓示によって支配されなければなりません：**

詩86:10 まことに、あなたは偉大で、驚くべきみわざを行なう方です。あなただけが神です。

イザヤ45:5 私はエホバであり、ほかにはいない。私のほかに神はいない。あなたは私を知らないが、私はあなたを保護した。

**II. この唯一の神は三一であり、三であり一です。すなわち、父、子、霊です。**

マタイ28:19 だから、行って、すべての諸国民を弟子とし、父と子と聖霊の名の中へと彼らをバプテスマして、

マタイによる福音書第28章19節ははっきりと、父と子と聖霊について語っています。しかしながら、もしあなたがこの節をよくよく読むなら、この三者には一つの名しかないのを見るでしょう。それは言います、「父と子と聖霊の名(単数形)の中へと彼らをバプテスマして」。そこには一つの名を持つ三者がいます。これは三一の神であり、三一です。私たちはどのようにこのことを説明することができるでしょうか？ 私たちにはできません。

**III. 「三一の神」は、おもに神ご自身を指しています。「神聖な三一」は、おもに神が三一であることを指しており、神が三一であることは神格の主要な属性です。**

**IV. 神聖な三一の三者は、永遠に同時同存しています：**

本質上、神は一です。しかしエコノミー上、神は三です。すなわち、父、子、霊です。神のご計画、神の行政上の案配、神のエコノミーの中で、父は第一の段階を取られ、子は第二の段階を取られ、その霊は第三の段階を取られます。父は計画し、子は成就し、その霊は、父の計画にしたがって子が成就したものを適用します。これは、神の永遠のご計画を達成するため、神のエコノミーにおける連続的な手続きあるいは手順です。

ところが、本質上の三一は、三一の神の本質を指しており、それは彼の存在のためです。エコノミー上の三一は、彼のご計画を指しており、それは彼の行動のためです。神聖な三一の存在の必要があり、また神聖な三一のご計画の必要があります。

**A. 父、子、霊はみな神です。**

**B. 父、子、霊はみな永遠です。**

**C. 父、子、霊は永遠から永遠まで同時同存しています。**

エペソ人への手紙第3章14節から17節でパウロは、父が力をもって、彼の霊を通して、私たちを内なる人の中へと増強し、キリストが私たちの心の中に、ご自身のホームを造ることができるようにと祈っています。この箇所では、父、霊、子なるキリストを持っています。そして三者はみな、同時に共に存在していることを再び示しています。

**V. 神聖な三一の三者は、永遠に相互内在しています：**

**A. 父、子、霊は互いに内住し合っています。**

ヨハネ14:10 私が父の中におり、父が私の中におられることを、あなたは信じないのか？ 私があなたがたに語る言葉は、私が自分から語るのではない。私の中に住んでいる父が、ご自身のわざを行なっておられるのである。

ヨハネ14:26 しかし慰め主、すなわち、父が私の名の中で遣わされる聖霊は、あなたがたにすべての事を教え、また私があなたがたに言ったすべての事を思い起こさせてくださる。

**B. 父、子、霊は相互内在の中で同時同存しており、こういうわけで区別はありますが分離はしていません：**

父、子、霊の関係は、同時同存するだけでなく、互いに内住し合っています。父は子と霊の中に存在しています。子は父と霊の中に存在しています。霊は父と子の中に存在しています。神格の三者の間のこの相互の内住は、「相互内在」と呼ばれています。……ヨハネによる福音書第14章10節から11節には、父と子の同時同存だけでなく、相互内在もあります。神格の三者、すなわち父、子、霊は、同時同存しており、また相互内在しています。

1. 神聖な三一の三者の間には、区別はありますが分離はありません。

2. 神格の三者は同時同存において区別はありますが、相互内在が三者を一にします。父、子、霊は相互内在の中で同時同存しています。

**VI. 「本質上の三一」は、三一の神の本質を指しており、それは彼の存在のためです：**

A. 彼の本質において、神は一であり、唯一のひとりの神です。

B. 本質上の三一において、父、子、霊は同時に同等に、同時同存し、相互内在しており、順位はありません。

C. 父、子、霊は本質的に一です：

1. 子が私たちに与えられています、彼の名は永遠の父と呼ばれています。

イザヤ9:6 一人のみどりごが私たちに生まれる。一人の男の子が私たちに与えられる。主権は彼の肩にある。そして彼の名は、「不思議な助言者、大能の神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。

2. 子は最後のアダムとして、命を与える霊と成りました。

Iコリント15:45 そこで、「最初の人、アダムは、生きた魂と成った」と書かれていますが、最後のアダムは、命を与える霊と成ったのです。

3. 主は、その霊また主なる霊です。

IIコリント3:17 そして主はその霊です。そして主の霊のあるところには、自由があります。

**VII. 「エコノミー上の三一」は、三一の神の計画を指しており、それは彼の行動のためです：**

A. エコノミー上の三一において、父、子、霊は神のエコノミーの過程の中で、三つの連続的な手順あるいは段階において働きます。

- B. 父は計画し、子は成就し、霊は父の計画にしたがって子が成就したものを適用します。
- C. 父、子、霊はエコノミー上、三ですが、エコノミー上の三一の中で依然として調和一致しています。
- D. 神聖なエコノミーがエコノミー上の三一によって遂行されているときも、神格の三者の永遠の同時同存と相互内在は完全なままであり、損なわれることはありません。

VIII. 神聖な三一の三者はみな、キリストにある信者である私たちの中に住んでいます：

- A. 父は私たちの中におられ、子は私たちの中におられ、霊は私たちの中におられます。  
ヨハネ14:20 その日には、私が私の父の中におり、あなたがたが私の中におり、私があなたがたの中にいることを、あなたがたは知るであろう。
- B. 父、子、霊はみな私たちの中におられますが、私たちの経験の中で、私たちの感覚では、ただひとりの方が私たちの中におられます。私たちの中に住んでいるこの方は三一の神です。

IX. 聖書の中の神聖な啓示によれば、神聖な三一は神の分与のため、すなわち、三一の神を彼の選ばれた人の中へと分配するためです。

神が三一であるのは、ご自身を私たちの中へと分与するための各段階を完成するためです。神はご自身を私たちの中へと分与するために、三つの段階を経られました。すなわち、御父の選びとあらかじめ定めること、御子の贖い、その霊の証印です。この三つの段階は神の神聖な分与のためです。

Ⅱコリント13:14 主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にありますように。

- A. 神聖なエコノミーの完成は、神聖な三一の分与によります：
  1. 神聖なエコノミーとは、神の願いと定められた御旨から出た神の計画と案配です。
  2. 神聖な分与は、この計画と案配にしたがった神の分与と分配です。
  3. 新約において神に関して述べられているすべての事は、神聖なエコノミーのための神聖な分与と関係があります。
- B. 神の願いと神の強い意図は、彼ご自身を彼の選ばれた人の中へと分与して、彼らの命、命の供給、すべてとならせることです。
- C. 神聖な三一の神聖な分与において、父は源泉であり、子は泉であり、霊は流れです：
  1. 源泉は水流や川の起源、源です。泉は源泉の湧き上がりと表現です。水流や川は流れです。
  2. 起源としての父は源泉です。表現としての子は泉です。伝達としての霊は三一の神の流れ、訪れ、適用であり、それは彼ご自身を彼の選ばれた人の中へと分配するためです：
    - a. エレミヤ第2章13節において、神はご自身のことを生ける水の源泉と言っています。ヨハネ第4章14節において、キリストは水の泉であり、信者たちの中で湧き上がって永遠の命へと至ります。啓示録第22章1節で、その霊は命の水の流れ、命の水の川です。

エレミヤ2:13 まことに、私の民は二つの悪事を犯したからである。彼らは私、この生ける水の源泉を捨てて、自分たちのために水ため、水をためることがない壊れた水ためを掘ったのだ。

b. 父は源泉、源であり、子は経路としての泉であって源を表現します。この経路、この泉は、一つの流れを生み出し、それは三一の神の訪れ、適用としてのその霊です。

D. Ⅱコリント第13章14節は、神聖な三一が組織神学の教理上の理解のためではなく、三一の神を彼の選ばれた人の中へと分与し、分配するためであることの強力な証拠です。

神の愛、すなわち、父の愛は源です。キリストの恵み、すなわち、子の恵みは父の愛の流れ出です。そして聖霊の交わりは、私たちが享受するために、子の恵みと父の愛が私たちの中へと流れ込むことです。これは私たちが三一の神、すなわち父、子、霊を経験し享受するためです。父の愛、子の恵み、聖霊の交わりは、三つの異なったものではなく、私たちが所有し、享受するための一つのものの三つの段階です。同様に父、子、霊は三人の分離した神ではなく、私たちが所有し、享受するための、ひとりの神の三つの段階です。コリント人への第二の手紙第13章14節は、神聖な三一が組織神学の教理上の理解のためではなく、神ご自身を神の選ばれた人の中へと分与し、分配するためであることの強力な証拠です。

X. 私たちは三一の神を経験し享受することによって彼を認識します：

Iヨハネ5:11 これが証しです。すなわち、神が私たちに永遠の命を与えられ、そしてこの命が彼の御子の中にあるということです。12 御子を持つ者は命を持っています。神の御子を持たない者は命を持っていません。

A. 子なる神(彼は完成者、手段である)を通して、霊なる神(彼は執行者、適用である)の中で、私たちは父なる神(彼は創始者、私たちの享受の源である)へと近づきます：

エペソ2:18 それは、私たち両者がキリストを通して、一つ霊の中で、御父へと近づくことができるためです。

1. 地位的に、私たちは神へと和解させられました。経験的に、私たちは御父へと近づきます。

2. 神へと和解させられることは救われることであり、御父へと近づくことは神を享受することです。この神は命の源として、私たちを再生し、彼の子たちとならせました。

B. 三一の神は、私たちの信仰の対象であるだけではありません。彼は私たちの中に住んで私たちの命また命の供給となり、私たちに経験と享受を与えます。

聖書ははっきりと、三一の神が肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天の過程を経た後、すべてを含む霊において究極的に完成され、来て私たちの霊の中に住んでいることを啓示しています。私たちの人の霊の中に住んでいるすばらしい、すべてを含む霊のゆえにハレルヤ！

私たちの霊は小さな器官であるかもしれませんが、それにもかかわらず、このすべてを含む霊が私たちの霊の中に住んでいるのです。

**C. 私たちは主観的な神の内なる享受を通して、三一の神を経験的に認識する必要があります。**

あなたはある食物を食べれば食べるほど、ますますそれを知るようになります。この知識は教理的なものではなく、経験的なものです。同じように、私たちは三一の神を享受し経験することによって、彼を知るようになります。私たちが教理だけで三一の神を知るのは不可能です。しかし私たちは、彼を享受し経験することによって彼を知ることができます。

**D. 三一の神の経験と享受には中心点があります。すなわち、神が人、すなわち神・人と成ったということ、そしてこの神・人が贖いを完成して、復活の中で命を与える霊と成ったということです。**

**E. 油塗りは、私たちが経験し享受する三一の神の運行です。油塗りの教えは、実は三一の神が私たちに彼ご自身に関して教えることです。**

Iヨハネ2:20 あなたがたは聖なる方から油塗りを受けているので、あなたがたすべては知っています。

**F. もし私たちが三一の神を認識しようとするなら、私たちは命の路線と命の成長の過程にいなければなりません。私たちは命において成長すればするほど、ますます神聖な三一に関心を持つようになります。**

Iヨハネ2:12 小さい子供たちよ、わたしが書き送るのは、あなたがたの罪が彼の御名のゆえに赦されているからです。

14 父たちよ、私があなたがたに書き送ったのは、あなたがたが初めからおられる方を知っているからです。若者たちよ、私があなたがたに書き送ったのは、あなたがたが強くあり、神の言があなたがたの中に住んでおり、あなたがたが邪悪な者に打ち勝ったからです。

15 世と世にあるものを愛してはいけません。だれでも世を愛するなら、御父への愛は彼の中にありません。

16 なぜなら、すべて世にあるもの、すなわち肉の情欲と目の情欲と生活の虚栄とは、御父から出たものではなく、世から出たものであるからです。

17 世と世の情欲は過ぎ去っていきます。しかし、神のみこころを行なう者は永存するのです。

18 幼い子供たちよ、今は終わりの時です。反キリストの者が来るとあなたがたが聞いていたように、今でも多くの反キリストが来ています。それによって、終わりの時であることを知るのである。

若者たちは神聖な命において成長している信者たちです。彼らは神聖な油塗りを通して、邪悪な者に打ち勝っています。さらに、彼らは強く、神の言葉が彼らの中に住んでいます。

## 経験(学生編):

- ① 三一の神はあなたの享受のためである: 聖書の中の神聖な啓示によれば、神聖な三一は神の分与のためであり、あなたの享受のためです。クリスチャンにとって最も重要なことは、三一の神を日々享受することです。「だから、行って、すべての諸国民を弟子とし、父と子と聖霊の名の中へと彼らをバプテスマして(マタイ28:19)」。この御言葉は、神聖な三一が人と結合することに関連して述べられています。「主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にありますように(Ⅱコリント13:14)」。この御言葉は、神聖な三一が人の享受になることに関連して述べられています。
- ② 内住の神の言葉によって、悪しき者に打ち勝つ: 学生の本分は勉強することですので、あなたは勉強が嫌いでも勉強から逃げてはいけません。若い学生の時によく学ぶことは、あなたの将来のために良い基礎を据えることになります。神はすべての人に賜物(才能)を与えました。神の願いはあなたが努力して勉強し、与えられた才能を十分に発揮することです。しかし、聖書の啓示によれば、多くの人には、賜物を用いず、それを隠してしまう傾向があります。この墮落した傾向に打ち勝つ最もよい方法は、神の言葉を祈り読みすることを通して、三一の神を享受することです。  
エペソ6:17 さらにその霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を、18 すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り、すべての聖徒のために根気と願い求めの限りを尽くし、このために目を覚ましていなさい。  
コロサイ3:16 知恵を尽くして、キリストの言をあなたがたの内に豊かに住ませ、詩と詩歌と霊の歌とをもって、互いに教え戒め合い、恵みをもって、心から神に向かって歌いなさい。  
Iヨハネ2:14 若者たちよ、私あなたがたに書き送ったのは、あなたがたが強くあり、神の言があなたがたの中に住んでおり、あなたがたが邪悪な者に打ち勝ったからです。  
若者たちが邪悪な者に打ち勝ったのは、彼らの内側にある神の言葉の供給と、三一の神の享受のゆえです。三一の神を享受して、真剣に勉強に取り組んでください。
- ③ 徐々に成長する: あなたはクラスの中で成績がトップの学生ではないかもしれませんが、神は、あなたが自分に与えられた才能を完全に発展させることを願っています。神の目から見て、誰も不必要な人はおりません。重要なことは、徐々に成長し、徐々に成績を上げていくことです。クリスチャン生活は、上り坂の生活です。あなたは自分の力でこの坂を上るのではなく、三一の神の享受をエネルギーとし、喜びを維持して前進してください。アーメン！

## 経験(ビジネス・パーソン編):

- ① 内住の神の言葉によって強くなる:ビジネス・ライフにおいて、召会生活に反対する多くの障壁があります。例えば、残業が多く夜の訪問や集会に参加できないこと、出世の誘惑のため心も時間も会社に占有されてしまうことです。このような障壁の源は、この世の支配者、邪悪な者、サタンです。あなたは自分の力で邪悪なものに打ち勝つことは不可能です。しかし、神の言葉には力があり、神の言葉をあなたの中に住ませる時、三一の神の豊かな享受があなたの中に流れ込んできます。この享受によって、あなたはサタンに打ち勝つことができるのです。
- ② 神のエコノミーを成就するための正常な召会生活を実行するあなたには、多くの反対、迫害、困難があるかもしれません。しかし、あなたは次の三つのことを覚えておいてください。
- i. 神の御言葉を祈り読みし、神の愛で満たされる:どんな環境にもどんな事柄にも、あなたは打ち勝つことができます。なぜなら、これらの事柄すべては、主キリスト・イエスにある神の愛から、あなたを引き離すことはできないからです。あなたの責任は、毎朝、神の御言葉を祈り読みし、三一の神を食べ飲み享受し、神の愛で満たされることです。  
ローマ8:35 だれが私たちをキリストの愛から引き離すのですか？ 患難ですか、苦悩ですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか？  
37 しかし、これらすべての事柄において、私たちを愛してくださった方を通して、私たちは勝ち得て余りがあります。  
38 なぜなら、死も、命も、天使たちも、支配たちも、現在の事柄も、来たるべき事柄も、力も、  
39 高いものも、深いものも、他のどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできないと、私は確信するからです。
- ii. 逃れる道が備えられる:神はあなたが耐えることのできないような試みに陥ることを許されません。むしろ、その試みと共に、逃れる道を常に備えてくださいます。  
I コリント10:13 あなたがたに臨んだ試みで、人の常でないものはありません。神は信実であって、あなたがたが耐えられないような試みに遭うことを許されません。むしろ、あなたがたがそれに耐えることができるようにと、その試みと共に、出て行く道をも備えてくださいます。
- iii. からだの生活の中にとどまる:あなたは召会生活、からだの生活の中にとどまる必要があります。召会の外側で、サタンの攻撃に打ち勝つことができる人はおりません。兄弟姉妹と共に欲から逃れ、キリストを追い求めてください。II テモテ2:22 ただし、あなたは若い時の欲から逃れなさい。そして純粋な心で主を呼び求める人たちと共に、義、信仰、愛、平和を追い求めなさい。